

2019年度三学会（日本民具学会 道具学会 日本生活学会）共催シンポジウム

民具と道具と生活用具 —モノから暮らしをみつめる—

会場：神奈川県 神奈川大学 23号館 311室 2020年3月7日(土) PM13:00~17:00

プログラム

開催挨拶 菊池健策（日本民具学会会長）
総合司会 安室 知（日本民具学会 神奈川大学教授）

発表 宇田哲雄（日本民具学会・川口市教育委員会文化財課課長補佐）
「石炭ストーブと日本文化」
石川義宗（道具学会・長野大学企業情報学部准教授）
「日本の暮らしと椅子 明治から100年間を概観する」
石村眞一（日本生活学会・九州大学名誉教授）
「木製容器の使用にみられる多様性」
山田昌久（日本民具学会・首都大学東京 大学教育センター特任教授）
「道具の形態変化・構造変化・操作法変化の社会的・経済的な意義
……縄文時代から近代にかけての道具変化の歴史……」

ディスカッション

（コメンテーター）

菊池健策（日本民具学会会長）・真島俊一（日本生活学会・TEM研究所所長）

閉会挨拶 藤本清春（道具学会会長）

入場無料・事前予約不要
会場地図 別紙参照

日本民具学会ホームページ <https://www.mingu-gakkai.com/> をご覧ください。